

文部科学記者会加盟社 各位
報道関係者各位

2022年9月12日 配信 No.2022-17
立命館アジア太平洋大学 (APU)

“サステナビリティ”と“ツーリズム”を学べる日本唯一の学部
「サステナビリティ観光学部」の学びの特徴を発表
～ 世界を変える人を育てる APU ならではの3つの独自性 ～

立命館アジア太平洋大学（所在：大分県別府市、学長：出口治明、APU）は、2023年4月に開設する「サステナビリティ観光学部（英：College of Sustainability and Tourism）」について、2022年9月12日（月）の記者発表にて当学部における学びの特徴と学部所属教員などを発表いたしました。

「サステナビリティ観光学部」は、日本で唯一のサステナビリティ観光学を学べる学部です。社会課題解決という使命から生まれた学びを理論と実践の両輪からアプローチするこの学部は、持続可能な社会に必要な4つの要素「環境・社会・経済・文化」を複合的に学ぶことができる、先進的でユニークな学部です。

地球規模のあらゆる課題を解決するためには、グローバルな観点から、地域の資源（人間、環境、文化、歴史、景観など）に価値を見出し、保護しつつも世界へ発信し、持続的な発展を実現する地域社会をつくる人材の育成が必要不可欠です。

一般に、持続可能な社会の実現のためには、「環境、社会、経済、文化」の4つの要素が必要だと言われています。現在の一般的なサステナビリティ学とは、その多くが理工系学部にあり、例えば環境問題に対して気候変動など今起きていている現象のメカニズムを解明し、その解決方法を探究するという、4つの要素の中でも特に“環境”に主眼を置いたアプローチが主流となっています。これに対して APU のサステナビリティ観光学部では、こうした現象のメカニズムを理解した上で、文系アプローチで循環型地域社会を実現するための学びを提供するため、環境だけでなく、社会、経済、文化の要素を修得することができるカリキュラム設計となっています。また、「環境、社会、経済、文化」は、いずれも「観光」と非常に密接に関係しており、持続可能な社会実現のためのツールであるため、サステナビリティ学と観光学を組み合わせる本学部は、非常にユニークで先進的な学部であると言えます。

本学は観光学の教育・研究をリードする教育機関を認証する制度である TedQual 認証^{*1}の、日本では3校しかない認証取得校のうちのひとつです。その知見を活かしながら、新学部では国を越えた世界共通の価値であるサステナブルを学ぶことで、これからの観光学をリードします。

^{*1} 国連世界観光機関（UNWTO）、TedQual 認証について

UNWTO は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する世界最大の国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

<http://www2.unwto.org/>（外部リンクへ飛びます。英語のみ）

【お問い合わせ・取材お申込み】 学長室（広報）担当：井口（いのくち）、ジョーンズ

〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1 Tel: 0977-78-1114 携帯：090-5473-3803 Email：r-apu@apu.ac.jp

UNWTO. TedQual 認証取得校・機関は、下記ホームページをご覧ください。
<https://www.unwto.org/institutions-unwtotedqual-certified-programmes> (外部リンクへ飛びます。英語のみ)

■ 「サステナビリティ観光学部」新設の背景

グローバル化が進み国境を越えたつながりが強くなった一方で、資源の枯渇、環境汚染、気候変動といった環境問題や、グローバリゼーションによる地域文化の消滅、格差社会などといった地球規模の問題が深刻化しています。経済発展を進めていく上でも、環境保全の要素をプロジェクトに取り入れたり、地域の個性（自然、歴史、文化）を磨いて、観光資源としてプロデュースする等といった、地球のあらゆるものごとの持続可能性を視野にいたした社会活動やビジネスの推進が、今後ますます重要です。

そこで、持続可能な社会、経済、環境に大きなインパクトを与える「観光」に注目し、サステナビリティ学と観光学の両面から学ぶことで、持続可能な社会と観光にかかわる現代的な課題や地球規模の問題を解決することのできる人材を育成することを目的とし、本学部を開設することに至りました。

■ 「サステナビリティ観光学部」3つの独自性

① 学ぶ領域：日本で唯一の「サステナビリティ観光学」を学べる学部

日本初のサステナビリティ観光学を学べる学部で、世界的にも先進的な学びであるサステナビリティと、21世紀最大の産業の一つとなる観光（ツーリズム）のどちらの専門性をも修得できます。

② 学び方：理論と実践の両アプローチから主体的に学ぶ

持続可能な社会に必要な「環境・社会・経済・文化」の4要素を網羅した9つの専門型科目群から、自ら学びたい領域を組み合わせることで知識を深めることができる独自のカリキュラム。理論と実践を積んで体得することで、即戦力を育み、多様なキャリアを目指せます。

③ 多様性と実践力に満ちた教員<世界12の国と地域から迎えた確かな専門性をもたらす25名>

サステナビリティ学、観光学、また双方を統合した専門領域を持つ、25名の教員を12の国と地域から迎えました。環境・観光・国際協力・まちづくり・ICT分野のスペシャリストや、世界的なトップ学術誌の編集者、論文発表者、また経済協力開発機構（OECD）や国連世界観光機関（UNWTO）、日本政府、自治体等での政策提言経験を持つ教員が揃っています。それぞれの学術分野で国際的な経験とネットワークを持つ多様性ある教員が、「サステナビリティ観光学部」の9つの専門領域に対応する、幅広い学びを全面的にサポートします。

■ 「サステナビリティ観光学部」教員一覧

名前	職位	主な担当授業
韓 驥 (ハン・ジ)	教授	気候変動、環境汚染と防止、循環型社会論
JONES Thomas Edward (ジョーンズ・トマスエドワード)	教授	環境と社会、生物多様性、公園と保護地域
松尾 雄司 (マツオ ユウジ)	准教授	気候変動、資源マネジメント、エネルギーマネジメント

【お問い合わせ・取材お申込み】 学長室（広報）担当：井口（いのくち）、ジョーンズ

〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1 Tel: 0977-78-1114 携帯：090-5473-3803 Email：r-apu@apu.ac.jp

李 燕 (リ・イン)	教授 (学部長)	社会調査法入門、キャップストーン
須藤 智徳 (スウトモリ)	教授	持続可能な開発入門、環境政策とガバナンス、環境経済学
石川 剛生 (イカワ タカ)	教授	国際開発協力、開発政策、プロジェクトマネジメント
大橋 弘明 (オハシ ヒロアキ)	准教授	サステイナブル都市開発と計画、レジリエント都市論、NPO/NGO 論
木村 力央 (キムラ リキオ)	教授	開発社会学・人類学、コミュニティ開発論
NISHANTHA GIGURUWA G.D. (ニシャンタ・ギグルワ)	教授	AI とデータサイエンス、GIS 入門、インターネット技術とアプリケーション、ニューテクノロジーと未来社会
久保 隆行 (クボ タカユキ)	教授	MICE 産業論、観光地開発と計画、都市デザイン
上原 優子 (ウエハラ ユウコ)	准教授	サステイナブルビジネス会計入門、経営戦略、ソーシャルアントレプレナーシップ、NPO/NGO 論
PISHVA Davar (ピッシュバ・ダバー)	教授	特殊講義 (ICT)、GIS とリモートセンシング、システムモデリング
VAFADARI M. Kazem (ヴァファダリ・カゼム)	教授	サステイナブルツーリズム、農村開発と観光、社会調査法入門
四本 幸夫 (ヨシモト ユキオ)	教授	社会学入門、キャップストーン
DAHLAN Nariman (ダハラン・ナリマン)	准教授	社会科学のための統計学、プログラミング入門、情報リテラシー、ビッグデータ分析、応用統計分析
狩野 英司 (カノウ エイジ)	准教授	社会科学のための統計学、インターネット技術とアプリケーション、ニューテクノロジーと未来社会
YOUN Seung Ho (ヨン・スン・ホ)	准教授	観光地マーケティング、ホスピタリティ・オペレーション サービス・エクスペリエンス、リゾート・マーケティング
土橋 卓也 (ツチハシ タカヤ)	教授	インターンシップ、観光とメディア、レベニュー・マネジメント
MEIRMANOV Serik (メルマノフ・セリク)	教授	心理学、ヘルス&ウェルネスツーリズム
轟 博志 (トノリ ヒロシ)	教授	観光文化論、遺産観光論、質的分析技法
BUI Thanh Huong (ブイ・タン・フオン)	教授	観光経済学 MICE 産業論、レベニュー・マネジメント
DIMACHE Alexandru (ディマチェ・アレクサンドル)	助教	観光学入門、遺産観光論、観光とメディア、スペシャルインタレスト、ソーシャルアントレプレナーシップ
SUN Yiyang (サン・イヤン)	助教	観光地マーケティング、ホスピタリティ・オペレーション、リゾート・マーケティング、フード&ビバレッジ・オペレーション
BOUKAMBA Kimo Hermann (ボカンバ・キモヘルマン)	助教	社会学入門、観光社会学、ツーリズム・オペレーション サービス・エクスペリエンス、観光地開発と計画
山根 友美 (ヤマネ トモミ)	助教	開発と経済、持続可能な開発入門

【お問い合わせ・取材お申込み】 学長室 (広報) 担当：井口 (いのくち)、ジョーンズ

〒874-8577 大分県別府市十文字原 1-1 Tel: 0977-78-1114 携帯：090-5473-3803 Email：r-apu@apu.ac.jp

■学部概要

入学定員 : 350 名
学部名称 : サステナビリティ観光学部 College of Sustainability and Tourism
サステナビリティ観光学科 Department of Sustainability and Tourism
開設年月 : 2023 年 4 月
学部長 : 李燕/リエン Li Yan (予定)
キャンパス : 〒874-8577 大分県別府市十文字原 1-1

■今後の予定/入試スケジュール

2022 年 9 月 8 日 出願開始 (国際学生)
2022 年 9 月 29 日 総合選抜型入試出願開始 (国内学生)
2022 年 11 月 10 日 2023 年 9 月入学 出願開始 (国内学生)
2023 年 1 月 6 日 一般選抜型入試出願開始 (国内学生)
2023 年 4 月 1 日 サステナビリティ観光学部 開設
2023 年 4 月 10 日 サステナビリティ観光学部 授業開講
その他の情報については、本学ホームページなどの発表をご参照ください。

<https://www.apu.ac.jp/home/newapu/>

■立命館アジア太平洋大学 (APU) について

立命館アジア太平洋大学 (APU) は、94 の国と地域出身の外国人留学生在が学生の半数を占め、THE 世界大学ランキング 2022 日本版では、「国際性」全国 1 位の評価を受けている大分県別府市にある大学です。国内でも有数の国際環境のもとで、多文化協働学習などの教育システムを確立し、日本のグローバル教育を牽引しています。マネジメント教育の国際認証 AACSB (米国)、AMBA (英国)、国連世界観光機関の観光学教育の国際認証 TedQual を取得し、世界でも最高水準の教育を提供する教育機関として認証を受けています。